



# 学校だより

11月号

令和4年10月31日

## ヒーローになるとき、それは今

校長 青木 和裕

「昨日、あれだけ降っていた雨も上がり、雲の隙間から、うっすらと日も差してきました。皆さんが昨日まで積み重ねてきた練習の成果を発揮する 때가 きました。自信をもって、運動会に臨んでください。校長先生は、皆さんの輝く笑顔、真剣なまなざし、全力の演技や競技、応援が見られることを、楽しみにしています。自分のめあてを意識して、友達と力を合わせて、この運動会を思いきり楽しんでください。」

令和4年度の運動会に向けて、子どもが主体的に運動会の演技や競技に取り組めるよう、教員がかっこよいモデルを示し、自分たちもやってみたい、という意欲を喚起しました。自分たちで考えたり創意工夫したりするところを大切に、毎時間の各自のめあてを明確にもったうえで、練習に臨むようにしました。ペア学年や低中高ブロックで演技を見合う中で、お互いに認め合い、励まし合う姿、見ていただいたことに対する感謝の思いを伝える姿もありました。1時間1時間の積み重ねが、当日の子どもたちの真剣でりしい表情、体中で運動会を楽しんでいる笑顔に表れていたと思います。今年度のスローガンどおり、一人ひとりが、ヒーローになりました。

子どもたちが気持ちよく演技や競技ができるように、また、参観する保護者の皆様が見やすいように、PTA役員の皆様、ボランティアの皆様が、細かいところまで気を配っていただきました。校庭前方の花壇に植えたケイトウが予想以上に伸びた(1m50 cm超え)ため、このままでは参観の邪魔になってしまうと判断し、予定より早く刈り取っていただきました。今年は、西門前の警備を民間の警備会社にも頼みましたが、PTA役員の皆様も、問い合わせや不測の事態に備えて、常時受付に交替でいてくださいました。本当に、ありがとうございました。

運動会後に行われた学校運営協議会では、委員の皆様よりたくさんのご意見やご感想をいただきました。子どもたちが責任をもって自分の役割を果たしている姿、それを陰で支える教職員へのねぎらいの言葉、本当にありがとうございました。今年度、低中高学年ごとの団体競技を復活させましたが、内容が楽しく工夫されていたこと、他学年と協力する姿が見られたこと、採点付きで大いに盛り上がったことなど、大好評でした。詳しくは、学校運営協議会だよりをご確認いただければ幸いです。

保護者の皆様には、感染症対策に留意したご参観、子どもたちへの温かい応援、運動会後の後片付け等、誠にありがとうございました。そして、何よりもお子様を毎日温かく支え、見守り、学校へ送り出していただいていることに、感謝申し上げます。これからも、よろしく願いいたします。

